

## ■本日のスケジュール

講習会内容	時間配分	
	講演	累計
I. 講習会の開催目的及び避難確保計画作成の必要性について	10分	10分
II. 避難確保計画作成		
1. 計画の目的 ~ 4. 防災体制(活動体制)	50分	60分
休憩	10分	70分
5. 情報収集・伝達 ~ 別表・自衛水防組織装備品リスト	45分	115分
III. 今後の予定	5分	120分

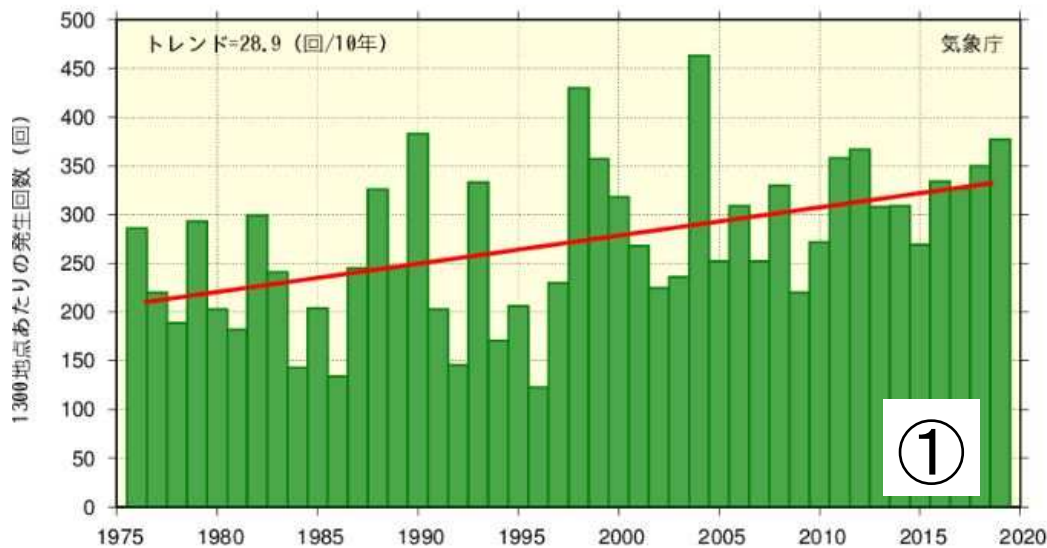
**●講習会の開催目的及び  
避難確保計画作成の必要性について**

# 1. 風水害による被害の頻発

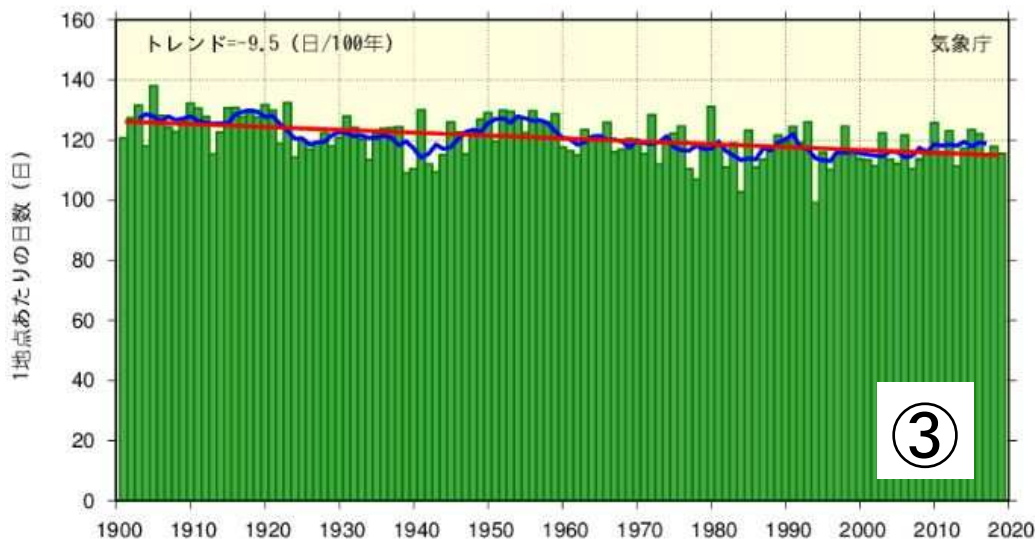
◇近年、「非常に激しい雨」や「大雨」の頻度は増加

◇年間の降雨日数は減少傾向にあり、気候の変化

全国【アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数



全国【51地点平均】日降水量1.0mm以上の年間日数



1時間50mm以上の激しい雨って…?

滝のように（ゴーゴート）降る雨



水しぶきであたり一面が白っぽくなり  
司会が悪くなる

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| ① | 1時間50mm以上の激しい雨の年間発生回数（1976年～） |
| ② | 1日に100mm以上の大雨の年間日数（1900年～）    |
| ③ | 年間の降雨日数(日降水量1mm以上)（1900年～）    |

# 1. 風水害による被害の頻発

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)

- ◇西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨
- ◇期間中の総降水量は四国地方で1,800mm超

期間降水量の分布図(H30.6.28~7.8)

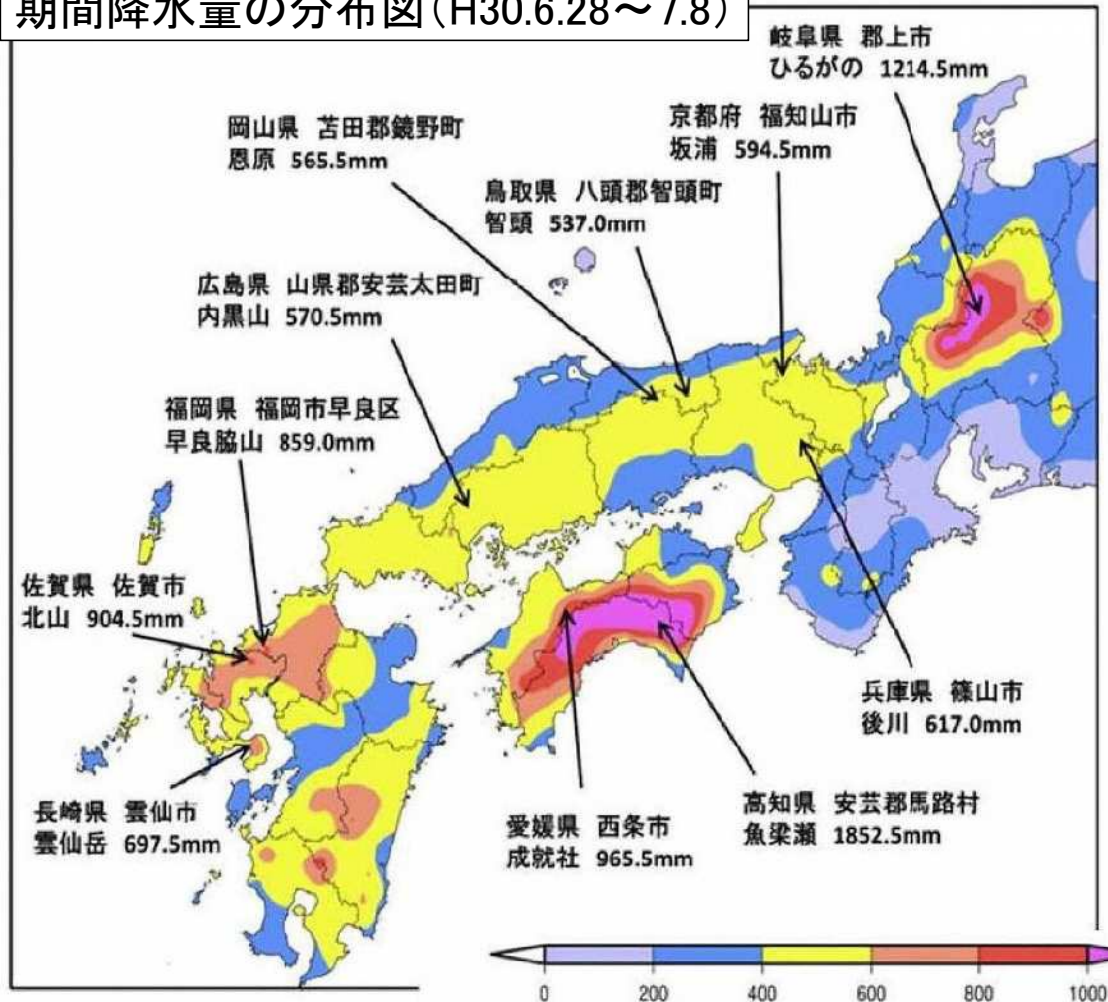
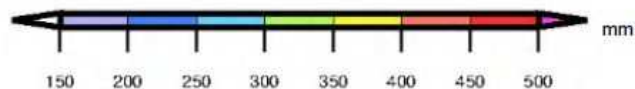
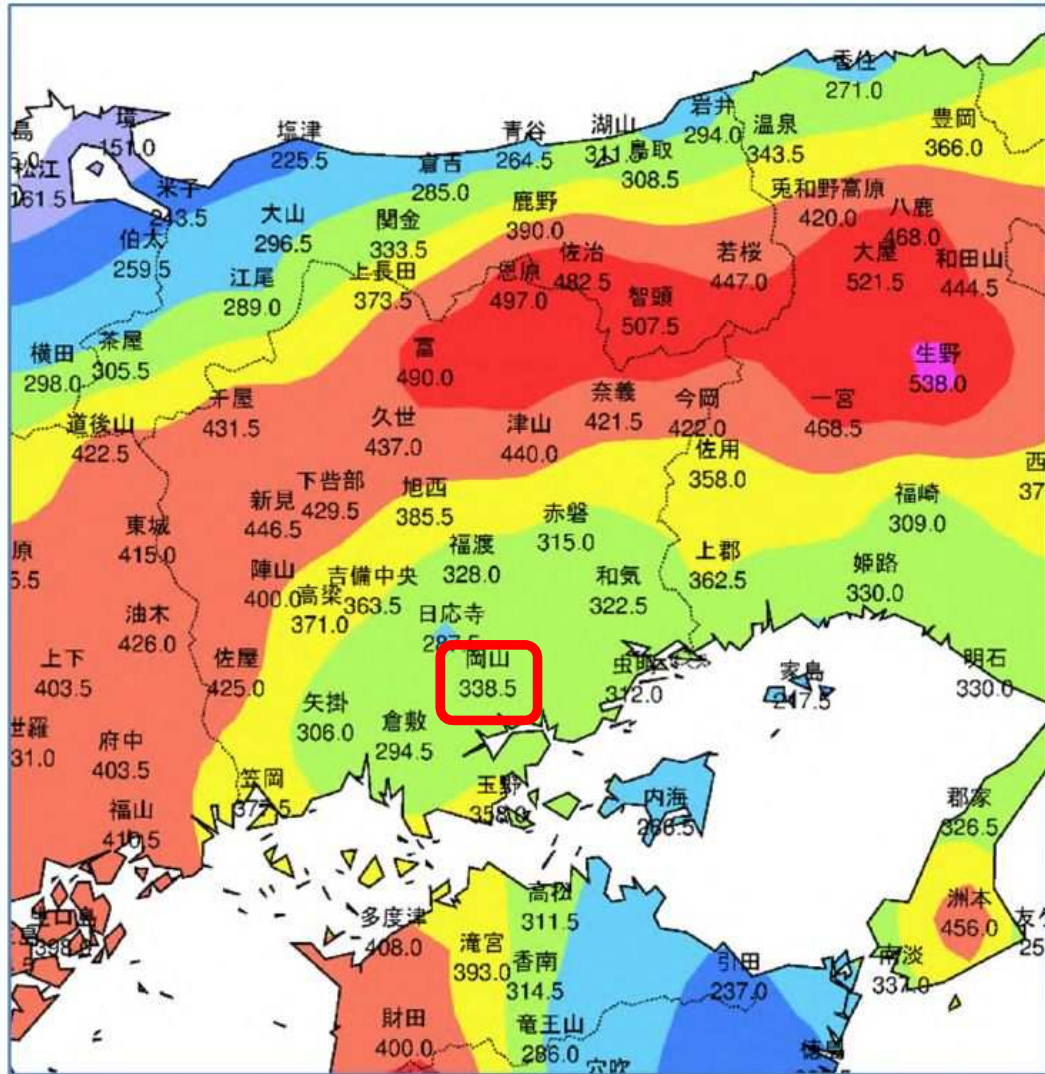


写真: 中国地方整備局

# 1. 風水害による被害の頻発

## 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)

○アメダス期間降水量(7月3日00時~8日24時)



気象庁資料

◇岡山市(岡山)の期間合計(7/3~7/8)の降水量は338.5mmでした。

◇岡山市での建物被害は、「全壊13棟」、「大規模半壊95棟」、「半壊1,096棟」、「一部損壊4,974棟」となり、広い範囲で被害が発生しています。

(平成31年2月22日現在)



写真: 岡山市

# 1. 風水害による被害の頻発

写真:国土交通省

令和4年 8月豪雨 山形県大江町 最上川溢水



令和3年 7月豪雨 広島県三原市 沼田川破堤



令和2年 7月豪雨 熊本県人吉市 球磨川破堤



令和元年 台風19号



福島県須賀川市ほか 阿武隈川破堤

# 1. 風水害による被害の頻発

平成30年 7月豪雨

岡山市東区 平島



平成30年 7月豪雨

岡山市東区 平島



H29年7月九州北部豪雨



大分県日田市小野地区 斜面崩壊

H28年8月 台風10号



岩手県岩泉町 小本川

## 2. 避難確保計画作成の義務化

○要配慮者利用施設の「避難確保計画作成」及び「避難訓練」が義務化されました。

- ・水防法及び土砂災害防止法の改正(H29.6)により、洪水による浸水が想定される区域や土砂災害(特別)警戒区域内で地域防災計画で定められた要配慮者利用施設について、避難確保計画作成・訓練の実施が義務化されました。
- ・計画作成しない場合には、市町村長からの指示、それに従わない場合にはその旨が公表される場合があります。
- ・令和2年1月1日時点での要配慮者利用施設(77,964施設)のうち、計画作成済施設は37,659施設(約48.3%)です。
- ・国土交通省は、2021年(令和3年)迄に作成率を100%とし、逃げ遅れによる人的被害ゼロの実現を目指しています。



浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設※の管理者等は、**避難確保計画**の作成・**避難訓練**の実施が**義務**となりました。

※ 市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象です。

【浸水想定区域の指定】



※「洪水浸水想定区域」とは、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域であり、河川等管理者である国または都道府県が指定します。

【土砂災害警戒区域の指定】

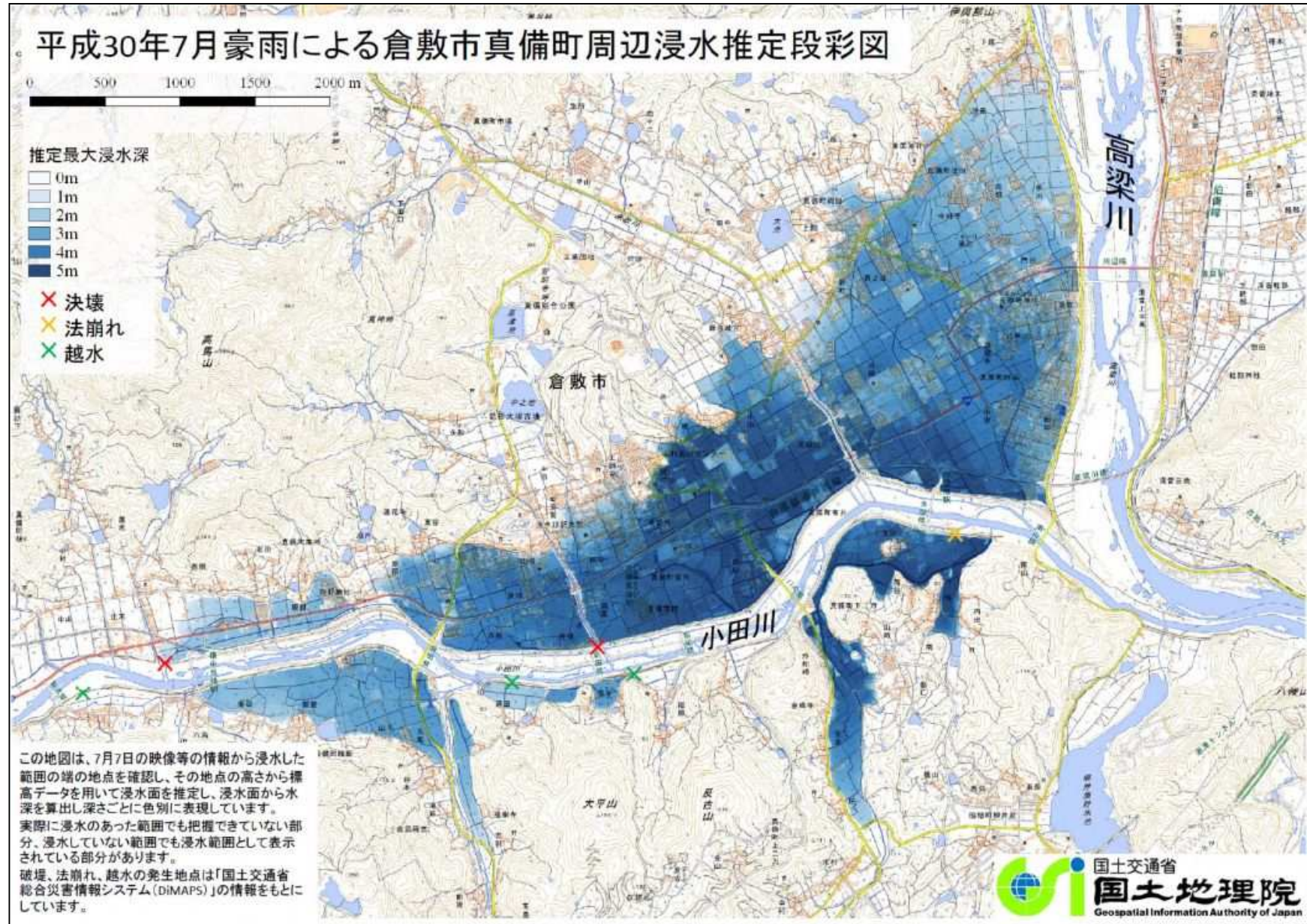


※「土砂災害警戒区域」とは、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、都道府県知事が指定します。



### 3. 避難確保計画の作成と訓練の必要性

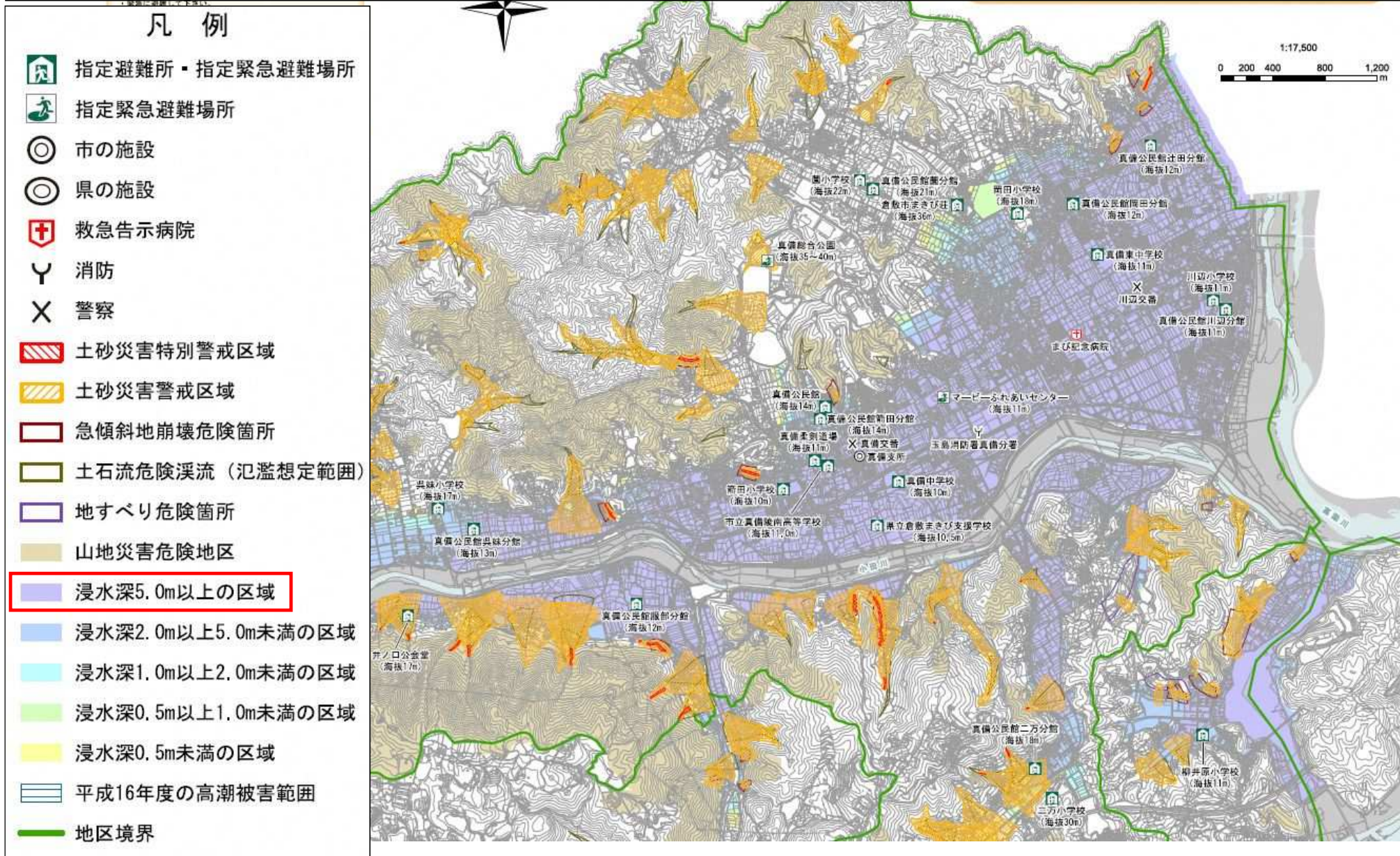
■ H30年7月豪雨(西日本豪雨)で甚大な被害を受けた倉敷市真備町について、当時の映像記録等から浸水していたと考えられる範囲と浸水深を整理した結果が下図です。



### 3. 避難確保計画の作成と訓練の必要性

■倉敷市では、H29年2月に洪水ハザードマップを作成し、公表していました。

■ハザードマップでは、広い範囲で浸水深が5.0m以上となる可能性が示されていました。



### 3. 避難確保計画の作成と訓練の必要性

- 西日本豪雨で浸水した範囲とハザードマップの範囲は、ほぼ一致する結果となりました。
- 災害リスクを「知っている」ことが、実際の避難行動になかなか繋がらないことが課題となっています。

□ : ハザードマップで公表されていた浸水範囲

西日本豪雨時に浸水していたと考えられる範囲と浸水深



- 避難確保計画を作る（その時について考えてみる）ことが必要です。
- さらに作った計画を活かし、災害に備える取組の継続が大切です。

# \*講習会資料について

■岡山市HP ホーム > くらしの情報 > 防災・災害支援 > 防災情報 > 水防 > **水防法に基づく申出について**

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000004589.html>

## 要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練は義務です



避難確保計画

検索

浸水被害が発生した場合、要配慮者利用施設では利用者の避難に多くの時間を要する可能性があることから、深刻な被害が発生するおそれがあります。このような状況を踏まえ、平成29年6月の「水防法」および「土砂災害防止法」の改正では要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、避難確保計画及びこれに基づく避難訓練の実施を努力義務から義務に改められました。

### 要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会について

#### 令和6年度講習会スケジュール

- 第1回 日時:令和6年11月18日(月曜日)9時30分～11時30分(受付9時)
- 第2回 日時:令和6年12月17日(火曜日)9時30分～11時30分(受付9時)
- 第3回 日時:令和7年 1月27日(月曜日)9時30分～11時30分(受付9時)
- 第4回 日時:令和7年 2月21日(金曜日)14時～16時(受付13時30分)

#### 開催場所

会場 :岡山市役所 本庁舎7階 大会議室

#### 令和6年度講習会資料

今年度の講習会に使用する資料です。

事前に「(1)講習会資料」及び該当する「(2)避難確保計画様式」、「(3)避難確保計画チェックリスト」を印刷して、ご参加ください。

※講習会資料はただいま準備中です。アップロードまでしばらくお待ちください。

#### (2)避難確保計画様式

[【医療\(1\)】避難確保計画様式\(岡山市に提出が必要\)\(ワード形式、863.05KB\)](#)

[【医療\(2\)】避難確保計画様式\(各施設保管用\)\(ワード形式、863.86KB\)](#)

[【学校\(1\)】避難確保計画様式\(岡山市に提出が必要\)\(ワード形式、888.84KB\)](#)

[【学校\(2\)】避難確保計画様式\(各施設保管用\)\(ワード形式、896.46KB\)](#)

[【社会福祉\(1\)】避難確保計画様式\(岡山市に提出が必要\)\(ワード形式、893.89KB\)](#)

[【社会福祉\(2\)】避難確保計画様式\(各施設保管用\)\(ワード形式、153.25KB\)](#)

#### (3)避難確保計画チェックリスト

[【社会福祉\(3\)】チェックリスト\(ワード形式、25.76KB\)](#)

[【医療\(3\)】チェックリスト\(ワード形式、26.66KB\)](#)

●本日の講習会について

# 命を守る

利用者のために  
利用者の家族のために  
職員の皆さんのために  
皆さんの家族のために

## ●防災のポイント

- ① 知る : 「起きる災害」、「地域・場所」、「自分達」
- ② 備える : 「普段から」、「迫った時」
- ③ 行動する : 「その時に、さっと」

## ●講習会のポイント

- ①様式への記入を中心に進めます。
- ②防災に関する専門的な解説は控えめにします。
- ③避難の判断材料や考え方を提示(参考)します。



# ＊避難確保計画の様式【洪水】

## ◆自衛水防組織を設置しない場合

	項 目	様式等	ページ
1	計画の目的・報告	様式 1	1
2	施設の概要	様式 1	1
3	施設が有する災害リスク	様式 1	1
4	防災体制（活動体制）	様式 2	2～5
5	情報収集・伝達	様式 3	6～7
6	避難誘導	様式 4	8
—	避難先までの避難経路図	別紙 1	9
—	施設建物内の避難経路図	別紙 2	10
7	避難に必要な設備の整備	様式 5	11
8	避難に必要な装備品や備蓄品の整備	様式 5	12
9	防災教育及び訓練の実施に関する事項	様式 6	13
11	利用者緊急連絡先一覧表	様式 8	15
12	緊急連絡網	様式 9	16
13	外部機関等の緊急連絡先一覧表	様式 10	17
14	対応別避難誘導一覧表	様式 11	18
15	防災体制一覧表	様式 12	19

避難確保計画は、全ての要素（様式）を検討・作成することを基本と考えて下さい。

計画作成後、市に提出する様式

【様式 1～6】、【別紙 1】

※様式 6 は自衛水防組織を設置した場合に提出

個人情報等が含まれるため、

市へ提出しない様式

（ただし、作成の上、施設にて管理）

# \*避難確保計画の様式

## 社会福祉施設 避難確保計画

対象災害：水害（洪水）  
土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）

【施設名： 】

【住 所： 】

令和  年  月 作成

記入する箇所をピンク色の着色  
で示しています

対象災害：水害（洪水）

~~土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）~~

【施設名： 】

【住 所： 】

令和  年  月 作成



対象災害：水害（洪水）

【施設名： 】

【住 所： 】

令和  年  月 作成

# ●避難確保計画の作成

# ●避難確保計画の項目

1.計画の目的・報告

2.施設の概要

3.施設が有する災害リスク

4.防災体制

5.情報収集

6.避難誘導

避難先までの避難経路図（別紙1）

施設建物内の避難経路図（別紙2）

7.避難に必要な設備の整備

8.避難に必要な装備品や備蓄品の整備

9.防災教育及び訓練の実施に関する事項

# 0. 災害を特定する

(災害の種類、大きさと範囲)

岡山市ハザードマップで、自分の施設に及ぶ「災害の種類」、「大きさ」、「範囲」を確認しましょう。

**①洪水ハザードマップ**

**②土砂災害ハザードマップ**

# 岡山市 地図情報

検索

岡山市地図情報



## 岡山市地図情報

- 2画面表示
- 属性一覧
- リンク
- 画像保存
- 印刷
- 使い方ガイド

岡山市防災情報マップ

マップ切替

現在地 岡山市中区中島 付近

透過性

地形図

入力例:岡山市北区大供1-1-1

検索

- 探す
- 測る
- 描く
- ルート
- 重ねあわせる

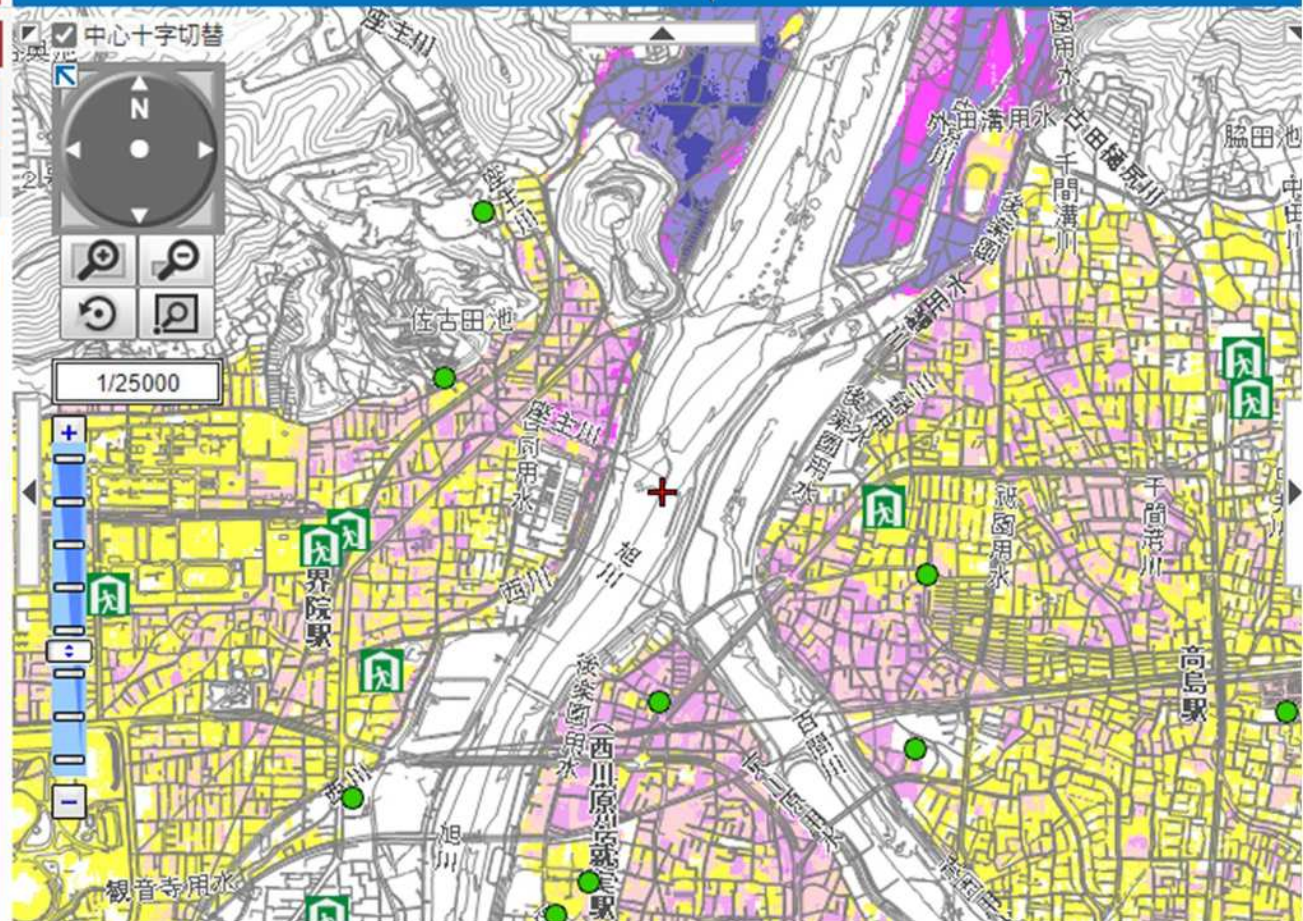
表示切替 全て選択 全てはずす

### 避難施設

- 避難施設
  - 岡山市が開設する避難場所 兼 避難所
  - 避難場所

### 洪水ハザードマップ

- 計画規模 (発生確率が100年に1回程度の雨を想定)
  - 0.5m未満
  - 0.5~1m未満
  - 1~2m未満
  - 2~3m未満
  - 3~5m未満



PC操作

# 岡山市 地図情報

検索



## 岡山市地図情報

地図や画像を利用して岡山市の公共施設や地図情報をインターネットを通じて市民の皆様へわかりやすく公開・提供するサービスです。

**お知らせ**  
2017-3-15  
岡山市地図情報のオープンデータを公開しました。  
[オープンデータ一覧](#)  
2016-10-3  
岡山市地図情報リニューアル

**「防災」を選択**

掲載マップ一覧

ご覧になりたい情報の 地図選択 をクリックすると、含まれるマップを表示することができます。

- 施設  
市の施設（市役所、学校、図書館など）、スポーツ施設、観光施設
- 防災**  
道路地図、ハザードマップ、地震防災マップ、ため池洪水想定マップなど
- 保健福祉  
休日施設、在宅高齢者、A・E・D設置施設、在宅医療・介護施設など



マップ選択

- 岡山市洪水・土砂ハザードマップ**
- 岡山市地震防災マップ・津波ハザードマップ
- 岡山市高瀬ハザードマップ
- 岡山市内水ハザードマップ・ため池浸水

閉じる

**「洪水・土砂ハザードマップ」を選択**

## 岡山市地図情報

トップページ > 利用詳細 > 位置選択

表示マップ: 岡山市防災情報マップ

エリア選択  
[ 全域 ] [ 北区 ] [ 中区 ]  
[ 東区 ] [ 南区 ]

住所から探す  
入力例: 岡山市北区大供1-1-1  
住所一覧から選択する場合はこちら

**「住所」を入力**

## 岡山市地図情報

トップページ > 利用詳細 > 位置選択 > 住所検索結果

表示マップ: 岡山市洪水・土砂ハザードマップ

エリアで絞り込み検索  
[ 全域 ] [ 北区 ] [ 中区 ]  
[ 東区 ] [ 南区 ]

住所から探す  
岡山市北区大供表町  
キーワード: 「岡山市北区大供表町」を含む  
該当件数: 1件(1~1件目までを表示中)

候補住所

- 岡山市北区大供表町**

**「候補住所」を選択**



# PC操作

## 岡山市地図情報

岡山市洪水・土砂ハザードマップ

入力例: 岡山市北区大供養町 付近

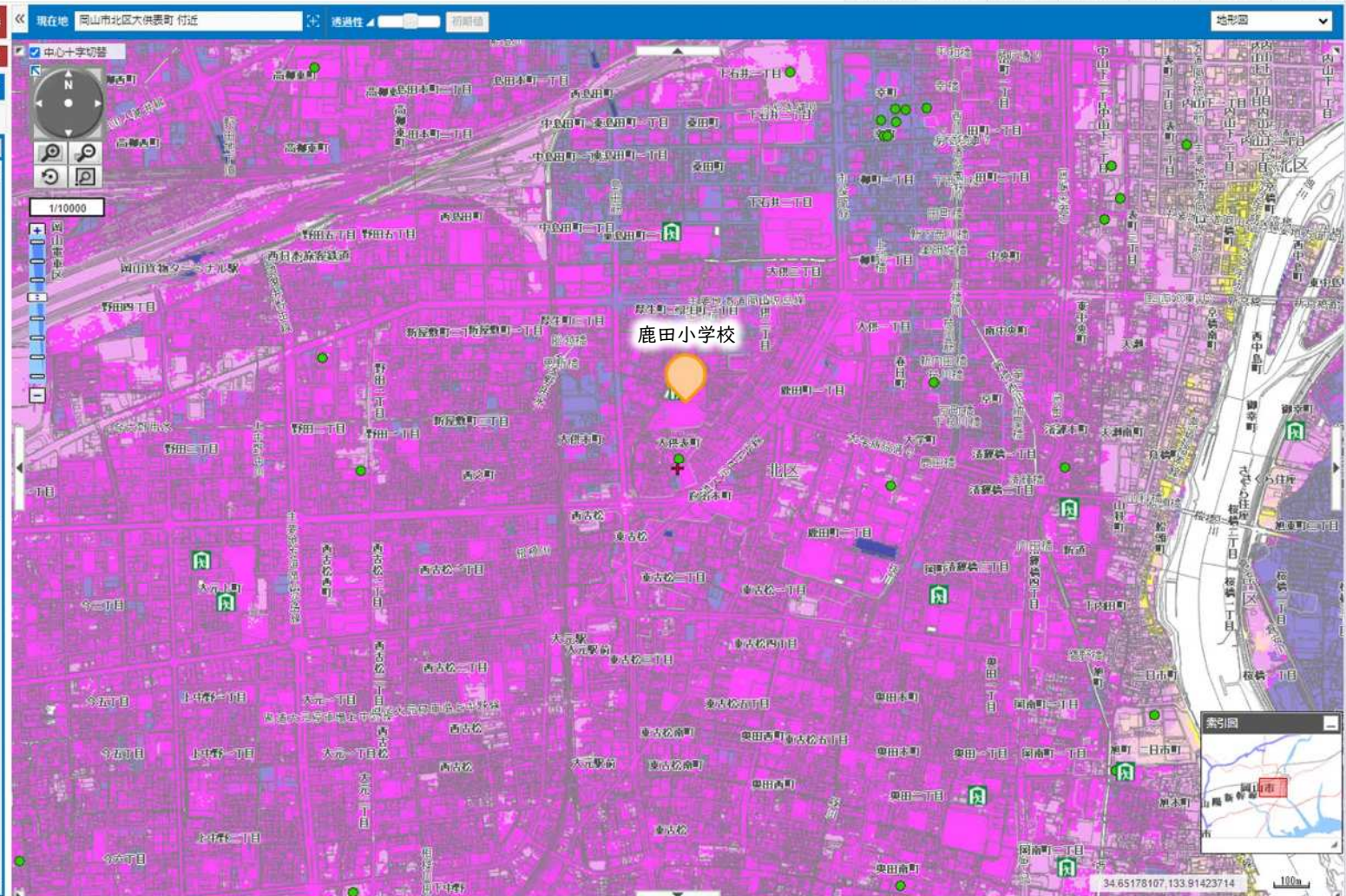
表示切替

- 計画規模 (発生確率が100年~150年に1回程度の雨を想定)
- 想定最大規模 (発生確率が1000年に1回程度の雨を想定)

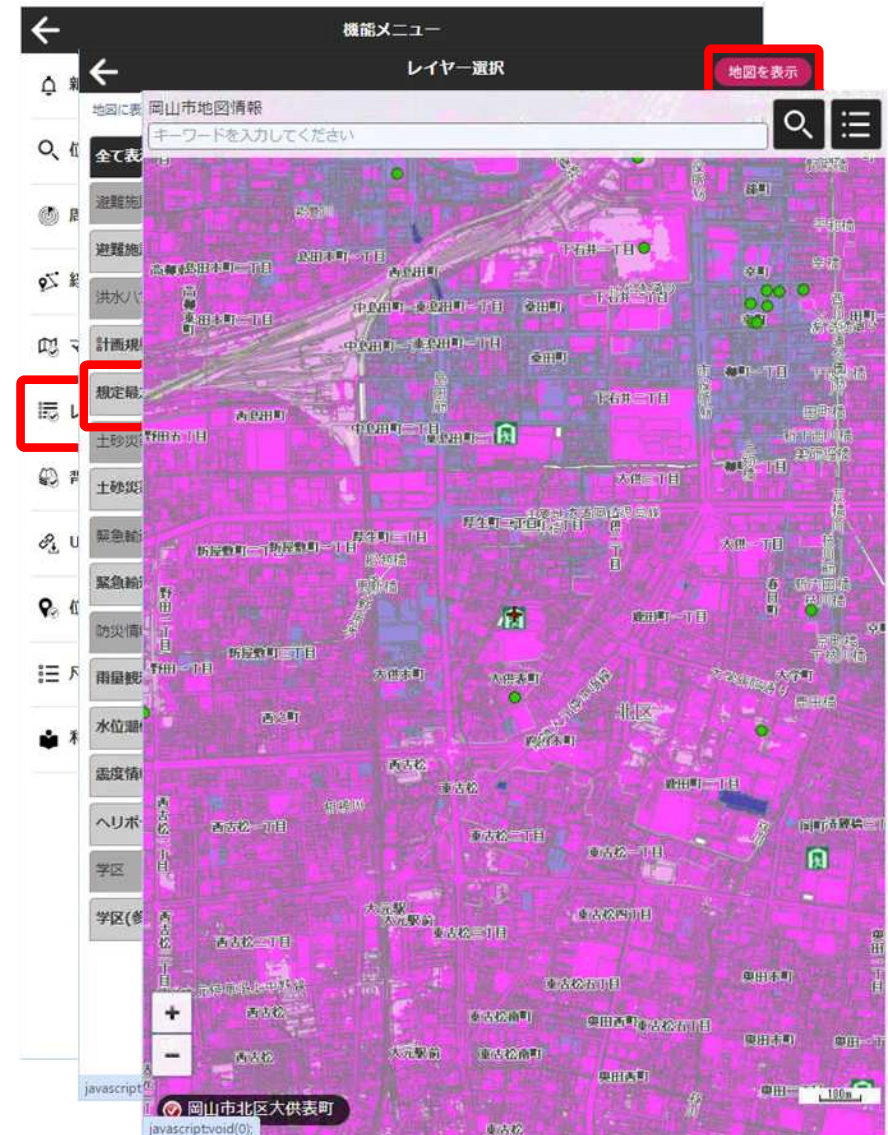
洪水ハザードマップ

- 0.5m未満
- 0.5~1m未満
- 1~2m未満
- 2~3m未満
- 3~5m未満
- 5~10m未満
- 10~20m未満

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



全画面表示 2画面表示 属性一覧 リンク 画像保存 印刷 使い方ガイド



**避難施設**

避難施設

- 岡山市が開設する避難場所兼避難所
- 避難場所

**緊急輸送路**

緊急輸送路

- 緊急輸送路 (1次)
- 緊急輸送路 (2次)
- 緊急輸送路 (3次)

**防災情報**

- 雨量観測所
  - 雨量観測所
- 水位潮位観測所
  - 水位潮位観測所
- 震度情報NWS
  - 震度情報NWS
- ヘリポート適地
  - ヘリポート適地

**洪水ハザードマップ**

計画規模 (発生確率が100年に1回程度の雨を想定)

- 0.5m未満
- 0.5~1m未満
- 1~2m未満
- 2~3m未満
- 3~5m未満
- 5~10m未満

**内水ハザードマップ (令和2年8月版)**

内水氾濫時の浸水深

- 浸水の深さ: 0.01m~0.2m未満
- 浸水の深さ: 0.2m~0.5m未満
- 浸水の深さ: 0.5m~1.0m未満
- 浸水の深さ: 1.0m以上

**ため池浸水想定マップ**

ため池浸水想定マップ

- ため池浸水想定マップ

**土砂災害警戒区域・特別警戒区域情報**

土砂災害警戒区域等

- 特別警戒区域 (土石流)
- 特別警戒区域 (土石流\_調査済指定前)
- 警戒区域 (土石流)
- 警戒区域 (土石流\_調査済指定前)
- 特別警戒区域 (急傾斜)
- 特別警戒区域 (急傾斜\_調査済指定前)
- 警戒区域 (急傾斜)
- 警戒区域 (急傾斜\_調査済指定前)
- 警戒区域 (地滑り)
- 警戒区域 (地滑り\_調査済指定前)

**津波ハザードマップ**

津波時の浸水深

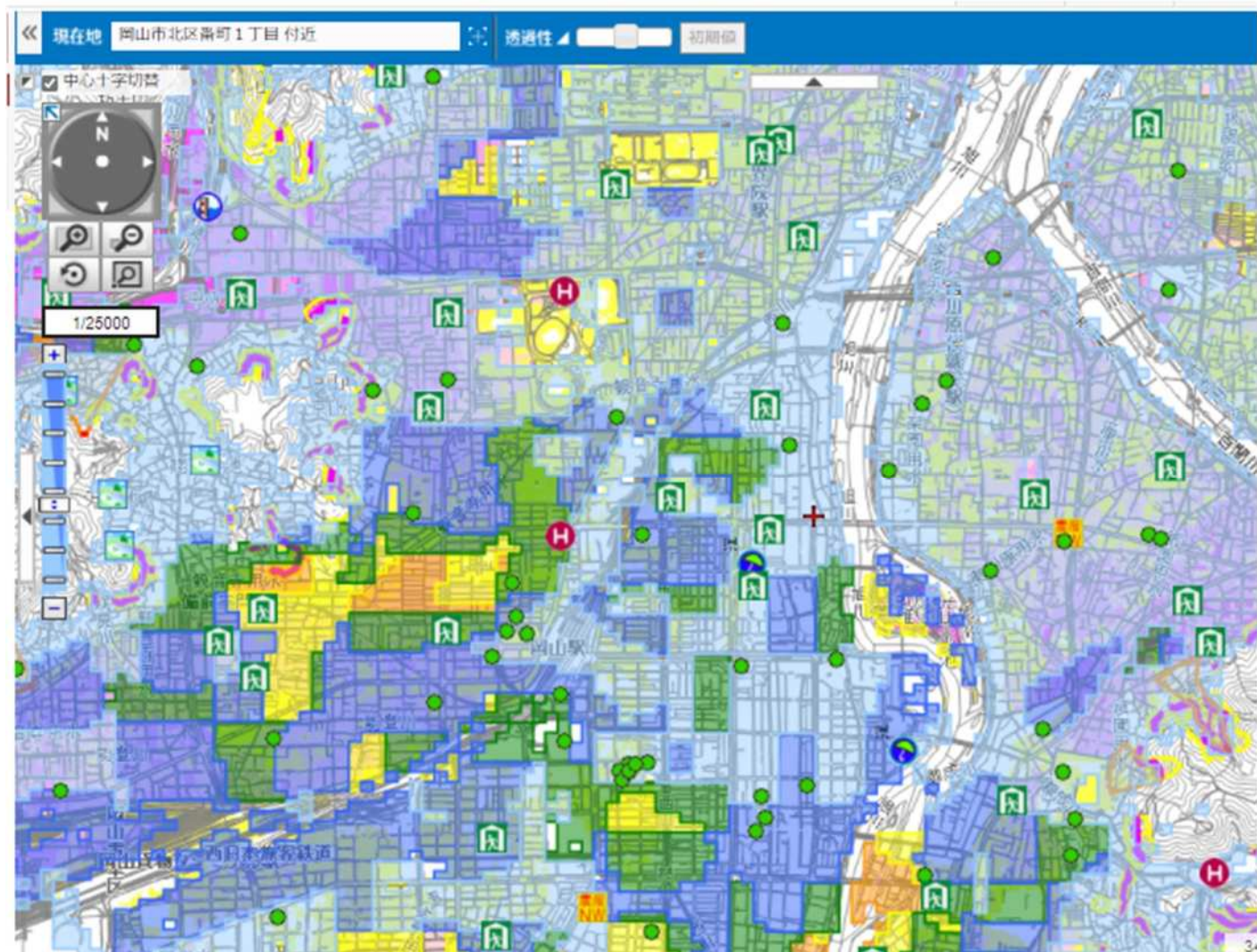
- 浸水の深さ: 0.5m未満
- 浸水の深さ: 0.5m~1.0m未満
- 浸水の深さ: 1.0m~2.0m未満
- 浸水の深さ: 2.0m~3.0m未満
- 浸水の深さ: 3.0m以上

**地震防災マップ**

地震危険度マップ

- 建物全壊率が3%未満の地域
- 建物全壊率が3~5%の地域
- 建物全壊率が5~7%の地域
- 建物全壊率が7~10%の地域
- 建物全壊率が10~20%の地域
- 建物全壊率が20~30%の地域

- 避難施設
- 洪水ハザードマップ
- 内水ハザードマップ (令和2年6月版)
- 平成23年台風12号による浸水想定区域 (内水)
- 平成30年7月豪雨による浸水想定区域 (内水)
- 津波ハザードマップ
- 地震防災マップ
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域情報
- ため池浸水想定マップ
- 緊急輸送路
- 防災情報
- 学区



洪水

## 【参考】施設周辺が浸水した場合の影響

- 施設が平屋建ての場合、3.0mの浸水で施設は天井付近まで浸かることとなります。
- 浸水深が0.5mの場合でも、ほとんど歩けなくなるものと考えする必要があります。

### 0.5m～3.0m の浸水では…



### 0.5m 以下の浸水では…



平成30年7月豪雨時の倉敷市真備町の状況

## ●2種類の想定

( ※ハザードマップの浸水の深さと区域の違い )

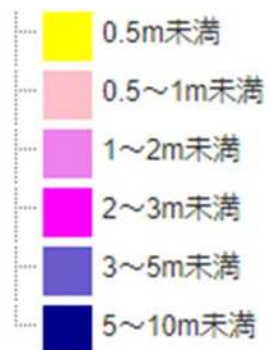
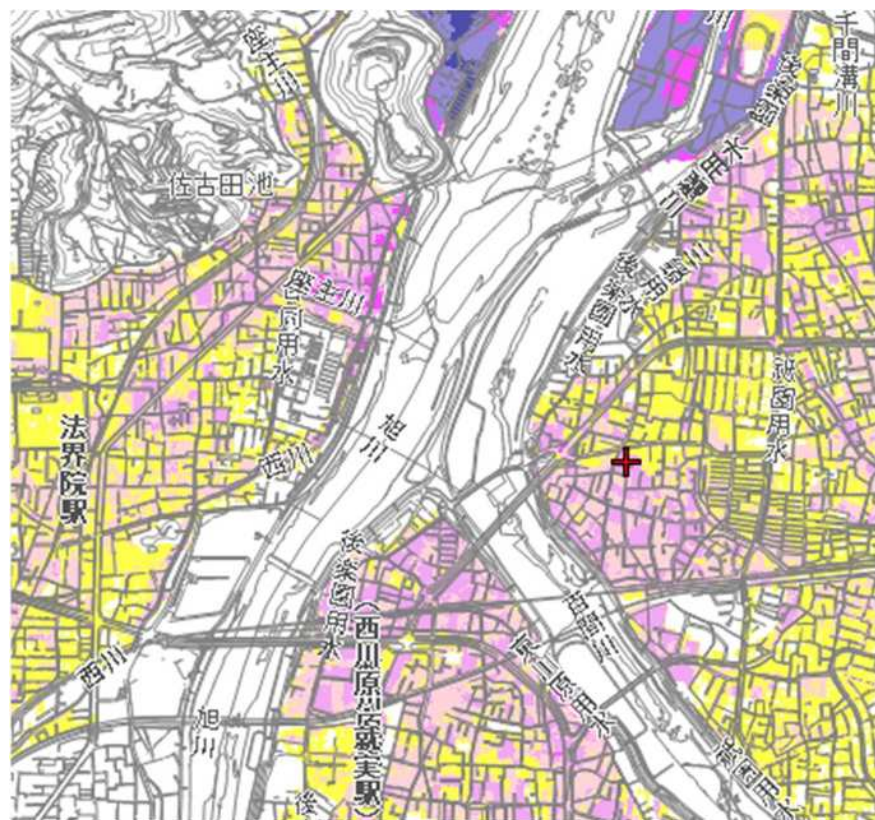
### ①計画規模降雨：河川整備の基本となる降雨

- \* 旭川、百間川：概ね150年に1回程度の大雨(48時間に257mm)
- \* 砂川(上道)：概ね100年に1回程度の大雨(24時間に228mm)
- \* 笹ヶ瀬川、足守川、砂川(一宮)：概ね100年に1回程度の大雨(24時間に188.5mm)

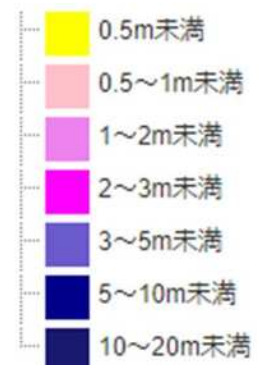
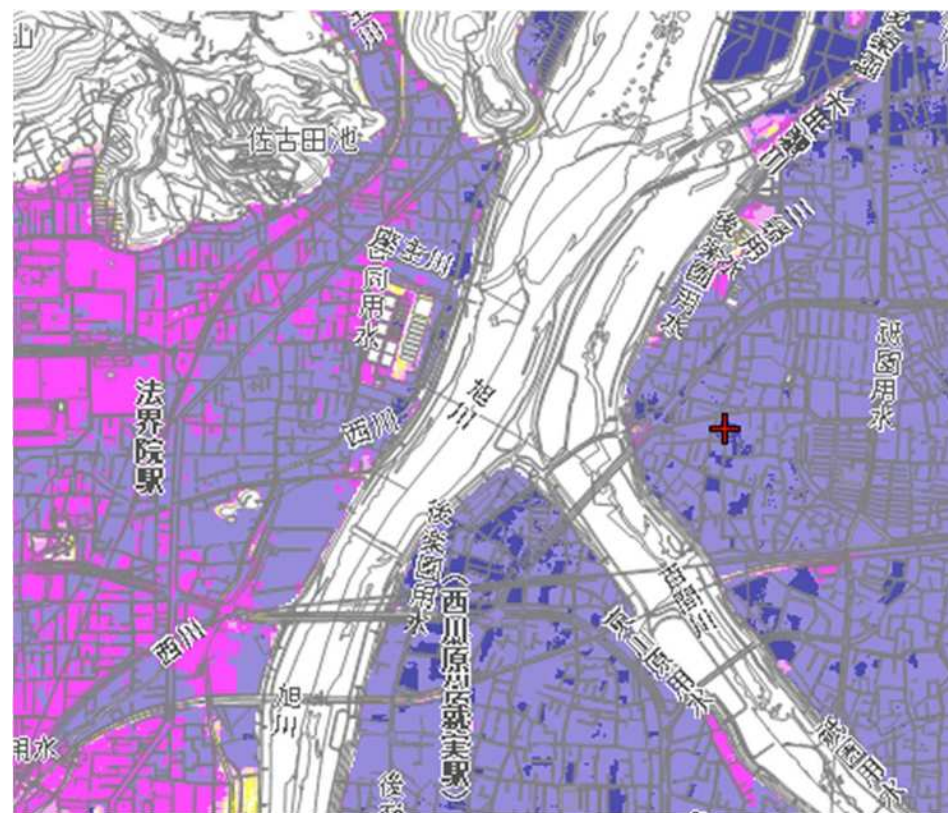
### ②想定最大規模降雨

- \* 旭川流域：概ね1000年に1回程度の降雨48時間に756mmを想定
- \* 「洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」
- \* 「洪水浸水想定区域図(浸水継続時間図)」
- \* 「洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫区域図)」

# ① 計画規模降雨



# ② 想定最大規模降雨





# \*水害リスクの最近の動向:浸水継続時間と家屋倒壊等のリスクを公表

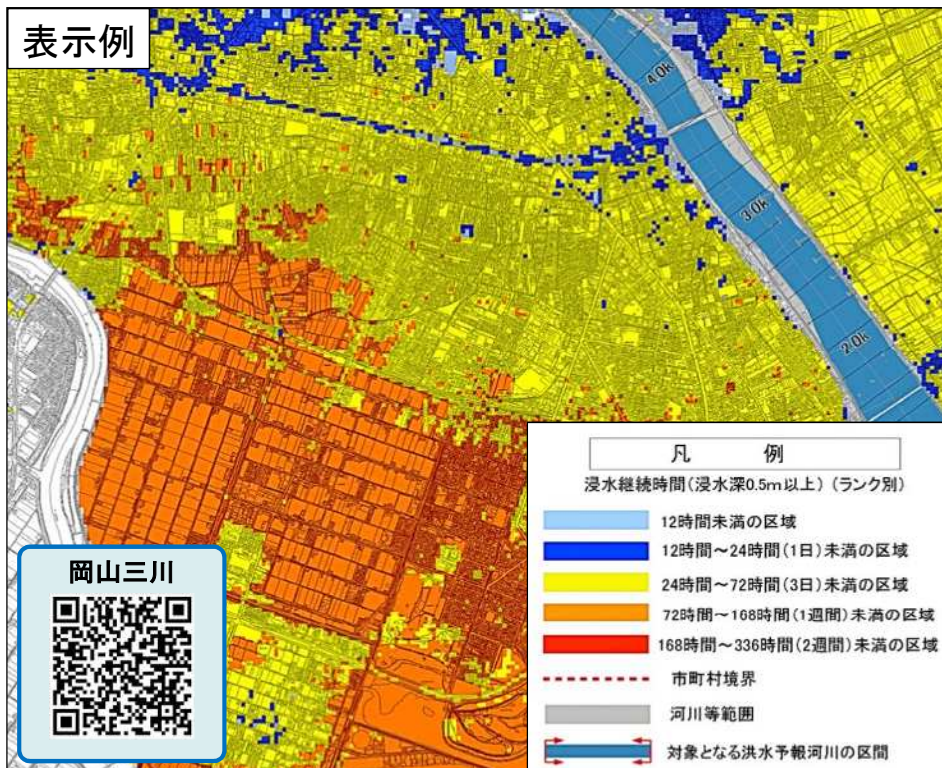
●水災害の激甚化による以下の恐れを踏まえ「浸水継続時間」「家屋倒壊等」のリスクが公表されています。これらは、避難行動・判断の参考になります。

➤洪水による浸水状態が続くことで「長期間にわたり孤立する恐れ」

➤水の流れの力が強い場合に「建物そのものが倒壊する恐れ」

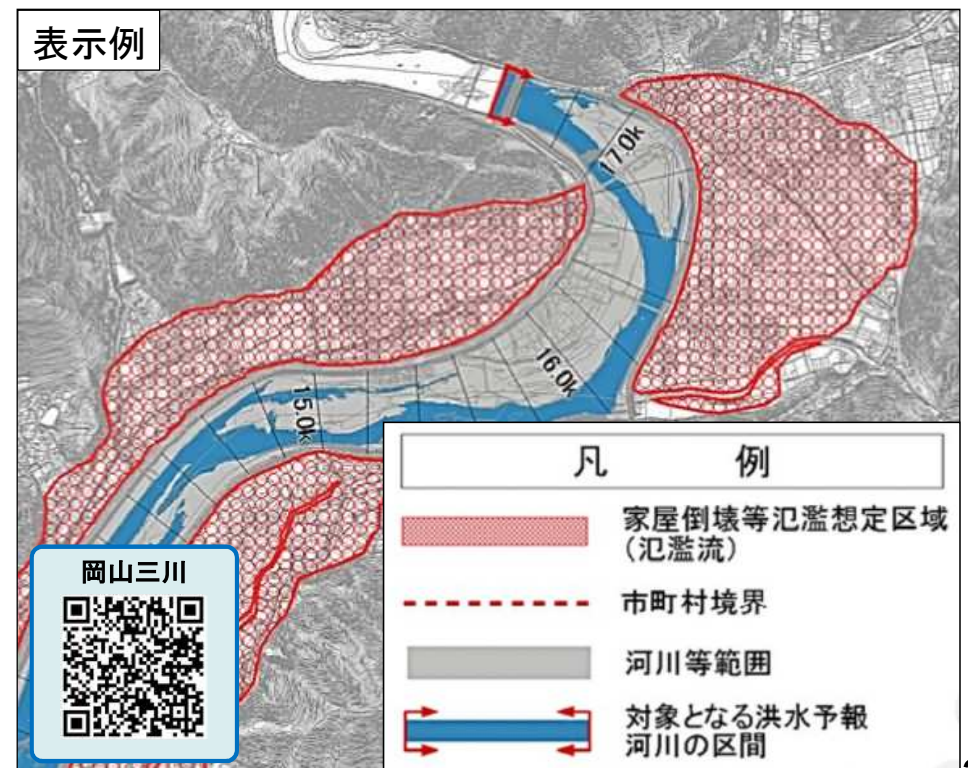
## <浸水継続時間>

◇浸水深が50cmに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示したもの



## <家屋倒壊危険ゾーン>

◇洪水時に家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い範囲を示したもの



# 土砂災害

# \*土砂災害について

## ■土砂災害の種類について

### <土砂災害>

【崖崩れ】 背後等に急傾斜地(がけ)があり、降雨により崩壊し、被害のおそれがある場合

【土石流】 土石流が発生し、被害のおそれがある場合

【地すべり】 地滑りが発生し、被害のおそれがある場合

がけ崩れ



土石流



地すべり



# \*土砂災害について

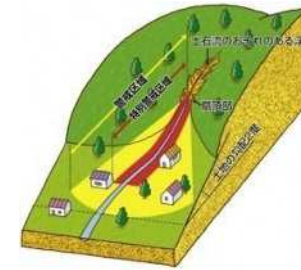
## ■土砂災害警戒区域等の指定

●土砂災害が起きそうな場所を  
**イエロー** と **レッド** に分けて  
みなさんにお知らせしています

急傾斜地の崩壊



土石流



地すべり



## 土砂災害警戒区域

○土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域を指定

### ●情報伝達・警戒避難体制の整備【市町村等】

市町村地域防災計画において、土砂災害警戒区域ごとに、土砂災害に関する情報収集・伝達等その他警戒避難体制に関する事項について定める。

### ●ハザードマップの配布【市町村等】

警戒避難を確保する上で必要な事項を住民に周知させるため、避難地や情報伝達手段等を記載したハザードマップなどの配布等必要な措置を講じる。

土砂災害ハザードマップの作成・配布(茨城県銚田市)



住民の避難訓練状況(沖縄県浦添市)



## 土砂災害特別警戒区域

○土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域を指定

### ●特定開発行為に対する許可制【都道府県】

住宅宅地分譲や社会福祉施設、学校、医療施設の建築のための行為は、基準に従ったものに限って許可される。

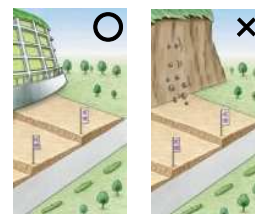
### ●建築物の構造規制【都道府県または市町村】

居室を有する建築物は、安全性を確保できる構造となっているかどうか、建築確認がされる。

### ●建築物の移転等の勧告【都道府県】

住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれが大きいと認めるときは、建築物の所有者等に対し、移転等の勧告の制度がある。

特定開発行為に対する許可制

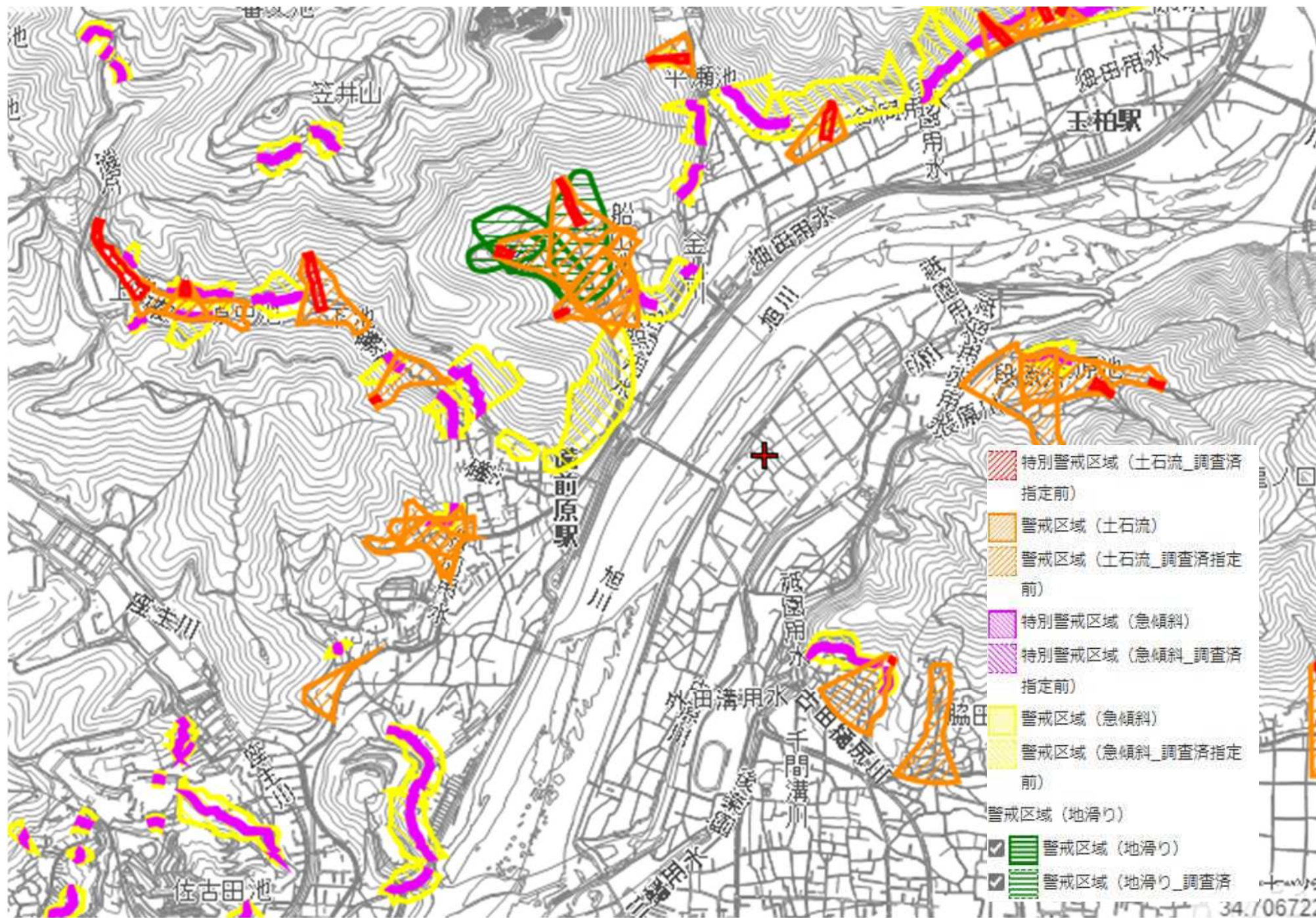


建築物の構造規制



建築物の移転等の勧告





1. 計画の目的

2. 報告

3. 適用範囲

# 【様式1】 計画の目的・報告・適用範囲

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	様式集(洪水)の記載を基本とする。	<input type="checkbox"/>

①計画の目的を記入  
 様式編の「対象災害選択シート」より対象災害を選択すると自動的に作成可能

←

1 計画の目的・報告 ←

(1) 目的 ←

この計画は、本施設の利用者の洪水時 ~~土砂災害の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。~~ ←

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水 ~~土砂災害~~に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。 ←

関連法：水防法、~~土砂災害防止法~~

←

(2) 報告 ←

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を岡山市長へ報告する。 ←

②計画を作成したことを岡山市に報告する趣旨の文面を記載

様式 1 ←

# 【様式1】 計画の目的・報告・適用範囲

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	様式集(洪水)の記載を基本とする。	<input type="checkbox"/>

## 2 施設の概要

利用形態	通所	入 所	建物の階数	2	階
	○	○(長期、短期)			

※利用形態を記載

※入所には、長期・短期がわかるように記載

※建物の階数を記載

## 施設の人数

	平 日				休 日							
	利用者		施設職員		利用者		施設職員					
昼間	約	27(通所9)	名	約	9	名	約	18	名	約	6	名
夜間	約	18	名	約	2	名	約	18	名	約	2	名

※利用者数は最大の利用者数を記載（おおよその利用者数でもよい）

※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載

※夜間は入所部門の人数を記載

### 施設利用者・職員人数の把握

想定される最大の人数を、平日と休日、昼間と夜間に分けて記載してください。



# 【様式1】 計画の目的・報告・適用範囲

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	様式集(洪水)の記載を基本とする。	<input type="checkbox"/>

## 3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

### 水害(洪水)

洪水浸水想定区域 (洪水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	0.5m~3m未満
------------------	-------------------------------	----------------------------------------------	-----------

←

### 土砂災害

土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 (以下の該当する分類に <input checked="" type="checkbox"/> )	←
		<input type="checkbox"/> がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	←
		<input type="checkbox"/> 土石流	←
		<input type="checkbox"/> 地すべり(地滑り)	←